

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

下記内容を協会ホームページ及び資格取得説明会等、健康管理士一般指導員普及活動において使用することを同意します。

健康管理士番号	H - 32254
お名前	毛利 厚志
性別	男
年齢	62



①なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

30数年間、健康に携わる仕事。栄養補助食品を、組織販売システムを用いてすすめていました。そこでは、リーダー育成・指導・教育をし、その組織のマネジメントが主な業務でした。その一環に、自ら講師としてセミナーやミーティングも行っていました。昨年退職、今までの断片的な知識を改めて体系だったものとしたかった。また、将来(第二の人生)の生き方に健康の知識は必須と思い勉強させていただくことが資格の取得という形(結果)となりました。有難うございます。

②健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

通信教育は、時間(スケジュール)調整がし易く、添削問題提出も有意義でした。養成講座は、倍の8回ほど欲しかった。講師のお話は、より健康への理解を深めるものでしたので今後、検討していただきたいと思います。資格取得のための合格対策講座は、非常に助かりました。

③健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

第二の人生の一つとして、模擬患者(模擬標準患者)として医学生・看護生と相対し始めました。患者役を演じるにも学んだことが活かされます。この資格(学習)が、栄養や健康食品関係に携わる方の必須なものとなることを望みます。健康産業での消費者トラブル防止、企業の暴走にも役立つものと思います。

④その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

「ほすぴ」は、新たな情報・知識として得られます。この2ヶ月に一回の学術刊行物は非常に価値あるものと思います。「日本の食育セミナー」新宿、都庁開催や池袋、福祉会館関東圏健康管理士活動報告会、管理士の活動も大いと参考となります。多くの健康管理士を育てるためにも、多くの開催を望みます。2か月に一回の学術刊行物と健康管理ニュースは有意義です。要望として時事、例えばエボラ出血熱やデング熱、検査データ(健康診断の正常値)などの情報も入れていただければ幸いです。